

手塚治虫アニメーション作品の絵コンテ・設定資料のデジタル化

株式会社 手塚プロダクション

概要／課題

「ジャングル大帝」「新ジャングル大帝 進めレオ」「W3」「どろろ」「悟空の大冒険」等に代表される手塚治虫のアニメ作品は日本のアニメーション史において多大な影響を与えてきました。それら作品のアニメ制作の過程において発生した中間成果物である「絵コンテ」は資料として非常に価値が高いものですが、紙に鉛筆で描かれているため、年月を経て劣化していきます。内的要因の経年劣化、酸化は防ぐことが出来ません。特に経年劣化が著しい手塚アニメ作品の「絵コンテ」をデジタル化することで保存と後の活用につなげていくために本事業に取り組みました。

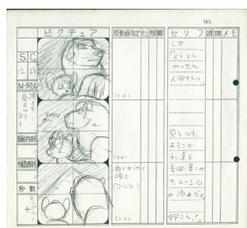
体制／手法

- ・ 絵コンテ整理、修復作業 手塚プロダクション
- ・ デジタル化スキャンおよびPDF化作業 手塚プロダクション／寺田倉庫
300dpi 手置きスキャニング→1話ごとのPDFファイルにて保管

成果

(成果物)

- ・ ジャングル大帝 17話分(第36～52話)の絵コンテ(前年よりの継続)
- ・ 新ジャングル大帝 進めレオ 25話分(第8話未保管の為)の絵コンテ
- ・ どろろ 全26話の絵コンテ
- ・ W3 全52話、未放送「パコパコの星」の絵コンテ
- ・ 悟空の大冒険 全39話、未放送「妖怪マシーン」の絵コンテ



新ジャングル大帝 進めレオ

第26話「ムーン山よ永遠に」



どろろ

第9話「ばんもんの巻 その一」



W3

第21話「火山の追跡」



悟空の大冒険

第5話「雨に唄えば」

(公開方法)

- ・ HPにて情報、データ化絵コンテリスト 公開
<https://tezuka.co.jp/>

(残された課題)

- ・ 残りの手塚アニメ作品の中間成果物「絵コンテ」「設定」のでデジタル化の継続
- ・ 効果的な活用方法の模索(電子書籍、展示など)

(文化的・社会的・経済的な意義)

・ 手塚アニメの絵コンテのクリエイターは、手塚治虫をはじめ山本暎一、杉井ギサブロー、出崎統、富野由悠季、高橋良介、りんたろうなど現在の日本のアニメを代表する監督たちが、多数参加しています。アニメ業界の後進の育成などにも活用できればと考えています。